

灌水と追肥も楽々！

タマネギ栽培の秘密兵器

# 透水マルチ「たまねぎ名人」

タキイ長沼研究農場

須江 淳起



↑雑草が生えにくく除草作業が軽減できる。

### 製品規格

「たまねぎ名人」の株間と条間は13×13cmで、1m幅に5条と少し密植になりますが、Lサイズによくそろい、貯蔵性もアップします。穴は×字切れ込み加工で、雑草の発生を極力抑えられるようになっています。購入時は製品の油分で若干水をはじくことがあります。すぐに親水状態になり、降雨や灌水は全体から浸みて、しっとり適湿になります。

### 適用作物

タマネギの株間に合わせた規格ですが、それ以外にも便利です。ハウレンソウやコマツナ、チンゲンサイなどの葉物は、1穴に数粒まきするか、トレイを使ったセル成型苗の定植でよくできます。穴をとばせば、ハクサイやキャベツ、ブロッコリー、ダイコンなどにもよいでしょう。泥跳ねがないので、きれいな野菜を収穫できます。

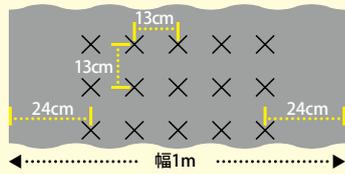
### 使用年限

基本は秋冬作に使いますが、初夏のエダマメに使用しても上作の結果が得られました。ただし、真夏の栽培では黒色が吸熱するのでおすすめできません。

ていねいに扱えば、2年4作の使用が期待できます。例えば、タマネギ↓エダマメ↓ハウレンソウ↓ハクサイ(タマネギ)のように使っていくとよいでしょう。ただし、1作収穫することにマルチを除去し、軽く耕してから張り直します。

タマネギは比較的栽培が容易で、誰もが作りたい野菜の一つですが、満足いく結果を得ることは案外難しく、毎年「今年こそは！」とあれこれ計画を立てて挑戦されているのではと思います。収量が安定し、長く貯蔵できるタマネギを収穫するのが、誰しも理想とするところでしょう。

今回ご紹介する「たまねぎ名人」は、栽培者のニーズを知り尽くしたタマネギブリーダーの栽培技術を製品開発にそのまま生かした、タキイオリジナルの透水マルチです。不織布メーカーと共同開発したもので、雑草の発芽を極力抑えるうえ、適湿に管理でき、追肥もしやすいマルチとなっています。その結果、除草作業から解放され、適湿と適切な肥効が得られて、貯蔵性が高いタマネギの収穫が期待できます。



★隙間から雑草が生えにくい×字切れ込み加工  
★5列並び(5条植え)、株間13cm(等間隔)

## 「たまねぎ名人」の特長

- ① 水をとおり、玉太り向上！  
雨水が適度に入るので肥効が安定し、玉太りしやすくなります。
- ② 雑草抑制・泥跳ね防止！  
雑草が生えにくく、面倒な草とり作業を軽減します。雨による土壌の跳ね返りを防ぎ、病気の発生を予防します。
- ③ 保温、蒸散防止にも！  
適度な保温・保湿効果で、冬の生育が安定します。

## 使用上のポイント

### ◎施肥

土壌の状態がよくなるので、全体の施肥量は控えめでもよくできます。通常露地栽培のように、元肥に加えて1、2、3月に少量の追肥をすることで作柄が安定します。

### ◎マルチ張り

「たまねぎ名人」は、畝立て後早めに被覆してなじませておきます。マルチ押さえには、一般的にマルチトンポと呼ばれるプラスチック製の杭で押さえますが、土の軽い圃場では「黒丸君」のような少し長めの針金状の押さえが抜けにくくてよいでしょう。

また、5寸釘に適度なプラスチックの座金を使っても、適度にさびて抵抗があり抜けにくくなります。

風の強い地域では、落ち着くまで直管やビニール袋に少し土を入れた重しなどで「たまねぎ名人」がとばされないように工夫しましょう。



↑有孔加工済みで、3.5mのパック品(右)で約100本、10m巻(左)で約350本の苗が植え付けできる。

### ◎定植

冬季に適湿が得られて生育がよいので、少し遅めの定植でも十分です。11月上旬のような早めの定植には、「チャージⅡ」などの晩抽極早生品種を選ぶとよいでしょう。「ネオアース」なら11月中下旬の少し遅めの定植で、貯蔵性の高い玉に仕上がります。

### ◎追肥

肥料は降雨時に散布するか、朝露などで濡れている時に施すと、マルチに付着し、降雨のたびに溶けて染み込みます。乾燥したままでは、通路に落ちてしまう場合があります。雪の上からの散布も可能で、雨が足りない時に液肥や灌水で補うことも容易です。

### ◎収穫の要領

植え穴は玉の直径より小さいので、あらかじめ葉を切ってからマルチを除去して収穫します。マルチで地温が上がるため、皮色のよい美しいたまねぎが収穫できます。ポリマルチの使用で水不足となった場合は、お尻が太りきらずに尖ってしまうことがあります。「たまねぎ名人」なら完熟で貯蔵養分がしっかり詰まったたまねぎが期待できます。

吊り貯蔵も可能ですが、倒伏後1週間をめどに完熟で収穫すれば、箱貯蔵でも十分もちます。プラスチック製の通風がよい箱に、たまねぎを8分目程度まで入れ、雨が当たらず風通しのよい場所で貯蔵します。

## 「たまねぎ名人」を使用して「ネオアース」を栽培(2010年収穫)

播種：2009年9月18日 マルチ定植：12月23日 収穫：2010年6月12日 栽培地：滋賀県内



↑すくすくと株ぞろいよく生育。



↑適正に生育中。



↑収穫は茎葉を切り、「たまねぎ名人」を除去して行う。無理に抜くと再使用ができなくなるので注意。

〈結果〉少し遅い定植だったが、暖冬に助けられて上作となった。

蔵します。家の裏側へ箱を置き、その上に波板で雨よけをした簡易保管庫で十分です。

## 露地栽培および黒ポリマルチ栽培との比較

たまねぎ名人使用：1球約300g



↑丸々と完熟して皮色も良好。お尻の肉つきもよい。

露地栽培：1球約280g



↑皮色が不十分となった。

黒ポリマルチ使用：1球約230g



↑尻尖りで十分に仕上がらず。

〈結果〉「たまねぎ名人」は透水性が良好で、非常によいできとなった。また、雑草が生えず快適に栽培でき、露地栽培に比べて皮が美しく仕上がった。

新商品の「たまねぎ名人」は、皆様のご意見からさらなる進化発展を目指します。どうぞご利用ください。